

# 防 災

# T K B

# フォーラム

災害関連死を防ぐための  
トイレ・キッチン・ベッド



災害関連死を防ぐには、快適なトイレ(T)、温かい食事を提供するキッチン(K)、身体を休めるベッド(B)が不可欠です。本フォーラムでは、災害関連死を防ぐために必要なTKBのあり方について考えるとともに、実践的な取り組み事例を共有することで理解を深めたいと考えております。

2025. 11. 21 (金) 開場 12:30  
13:00-16:00

TAKANAWA GATEWAY CITY Convention Center

6F Conference Hall C (東京都港区高輪 2-21-2)

JR 山手線、JR 京浜東北・根岸線「高輪ゲートウェイ駅」直結

主催 防災TKB 出初式記念イベント実行委員会  
企画・運営 特定非営利活動法人日本トイレ研究所 後援 (予定) 内閣府、国土交通省、東京都、港区

事務局 特定非営利活動法人日本トイレ研究所 東京都港区新橋 5-5-1 IMC ビル新橋 9F  
TEL 03-6809-1308 / Mail laboseminar@toilet.or.jp / www.toilet.or.jp

自治体の方はこちら



お申込はこちら

それ以外の方はこちら



12:30 開場

13:00 開会挨拶

13:10 **発表 1** イタリアの災害対応の考え方とベッド導入の重要性

水谷 嘉浩氏 一般社団法人避難所・避難生活学会 代表理事

イタリアでは災害が発生するとトイレ・食事・ベッドを迅速に届ける仕組みが構築されています。被災者を災害関連死から守るための環境整備について、イタリアのユニット化された支援体制や、ベッドの必要性についてお話しいただきます。



13:30 **発表 2** 都市における災害時のトイレ問題と対策

加藤 篤氏 特定非営利活動法人日本トイレ研究所 代表理事

これまでの大きな災害では上下水道等が損傷し、水洗トイレが使えない状況になりました。トイレ問題がもたらす健康被害と、適切な備えのあり方、さらに都市部における課題についてお話しします。



13:50 **発表 3** 飲食店組合との専門職による炊き出し体制の確保

森川 博氏 熊本県益城町 危機管理課 課長

熊本県益城町では、平成 28 年熊本地震での課題を踏まえ、災害時の炊き出しを行う専門職の確保と、炊き出しに必要な資機材及び食材の確保を目的に、益城町料理飲食業組合と協定を締結しました。専門職による安定的な適温食の提供についてお話しいただきます。



14:10 **発表 4** 港区における「リアル防災都市」の推進

佐藤 博史氏 東京都 港区 防災危機管理室長

港区では首都直下地震に備えて、実効性のある対策を充実させた「リアル防災都市」の実現に向けた取り組みを進めています。共同住宅に約 9 割の世帯が居住しているという区の特性を踏まえた、都市型防災の取り組みについてお話しいただきます。

14:30 休憩 (10分)

14:40 **発表 5** 災害時の物流問題への対応と  
フェーズフリー型物流インフラの必要性について

田路 圭輔氏 株式会社エアロネクスト 代表取締役社長 グループ CEO

能登半島地震では孤立集落へのドローンによる医療品配送が実施されました。平時からドローン配送と陸送を組み合わせた地域物流プラットフォームを整えておくことで、災害時に迅速な緊急物資輸送を実現する「フェーズフリー型の災害物流対策」についてお話しいただきます。



15:00 **意見交換および質疑**

**TKBから始まる防災のアップデート  
～ 100 年先につながるレジリエンスシティ～ (55 分)**

パネリスト:水谷 嘉浩氏、森川 博氏、佐藤 博史氏、田路 圭輔氏、東日本旅客鉄道株式会社  
進行:特定非営利活動法人日本トイレ研究所

15:50 閉会挨拶

16:00 閉会